

新風会・公明
竹内和順
議員



○「こども課」新設について ○パートナーシップ宣誓制度の導入について

その他の質問

- ・今夏の豪雨災害から学ぶ地域防災について
- ・市職員のリスクリソグ「学び直し」について

議 令和5年度から行政組織の改編を行い、教育委員会事務局に「こども課」が新設され、これまで福祉児童課が所管であった0歳からの乳幼児も一元的に教育委員会が担当することとなる。

理 ここに至るまでに現場においてどのような土壌づくりをしてきたのか伺う。

理 令和5年4月に文部科学省、厚生労働省などが分散して所管する子ども政策が、内閣府外局の「こども家庭庁」に一本化される。

そこで、勝山市も市長部局と教育委員会部局で所管している幼児教育・保育、子育て支援等を教育委員会部局が一元的に所管し、支援体制を充実させるべきと判断した。

理 認定こども園制度がスタートし、市内の民間保育園の多くが幼保連携型認定こども園に移行した。内閣府所管の認定こども園に対して両者が関わる必要はあるが、現状では教育委員会部局の関与は十分ではない。教育委員会部局へ子ども政策を一元化すること、認定こども園・保育園に対する関与や全ての就学前児童の教育環境改善、家庭の子育て支援の強化、小学校と児童センターの連携強化を図ることができると考えている。

議 パートナーシップ宣誓制度は、成年に達している方がお互いをパートナーであるとして宣誓できる制度で、この制度が策定されれば、中学生や高校生の生徒がLGBTQ+の相談に来るものと想定されるが、その対応は教育委員会できているのか。

理 相談があった場合、まずは当該児童生徒の悩みや不安を丁寧に聞き取り、気持ちに寄り添いながら個のニーズに応じた支援や対応に取り組んでいく。

また、校内で効果的な対応を進めるため、当該児童生徒とその保護者の意向を踏まえ、丁寧な教育相談と説明を行い、教職員間の情報共有とチームとしての対応を進める。それぞれの児童生徒が求める支援は様々であることや変化もありうることを踏まえ、先入観を持たずにその児童生徒の状況に応じて対応する姿勢を大切に取組んでいく。

市政会
下道恵子
議員



○耕作放棄地にコキアを植える企画について ○まちづくり会館の備蓄倉庫について

その他の質問

- ・多様な性に対応したファミリーシップ制度を導入することについて
- ・コロナ禍での子どもたちの身体への影響について
- ・道の駅に車中泊用RVパーク設置について



コキア畑

議 令和4年度農業委員会「耕作放棄地解消プロジェクト」が立ち上げられ、道の駅「恐竜溪谷かつやま」周辺の耕作放棄地一面にコキア1400本が、募集した市民の方や荒土小5年生の手によって植えられた。秋になり、コキアは見事に真っ赤になり、通る人の目を楽しませてくれた。ぜひ、この企画を続けてほしい。

理 テレビや新聞等のメディアに取り上げられ、連日多くの観光客が市内外から訪れ、思い思いに写真を撮るなど楽しむ様子が見られた。訪れた方からは、「すごくきれいで驚いた」「ぜひ来年も見たい」といった声をたくさん聞き、耕作放棄地を解消するモデル事業としては一定の成果を得られたと思う。

実施場所の選定やPR方法

議 令和4年度農業委員会「耕作放棄地解消プロジェクト」が立ち上げられ、道の駅「恐竜溪谷かつやま」周辺の耕作放棄地一面にコキア1400本が、募集した市民の方や荒土小5年生の手によって植えられた。秋になり、コキアは見事に真っ赤になり、通る人の目を楽しませてくれた。ぜひ、この企画を続けてほしい。

理 テレビや新聞等のメディアに取り上げられ、連日多くの観光客が市内外から訪れ、思い思いに写真を撮るなど楽しむ様子が見られた。訪れた方からは、「すごくきれいで驚いた」「ぜひ来年も見たい」といった声をたくさん聞き、耕作放棄地を解消するモデル事業としては一定の成果を得られたと思う。

実施場所の選定やPR方法

議 老朽化してきたまちづくり会館の改修が順番に行われている。

理 まちづくり会館は、災害時の避難所と位置づけられているが、市内のまちづくり会館に備蓄倉庫はあるのか。ないとすれば、今年の水害被害のことも踏まえ、備蓄品を入れる倉庫を各まちづくり会館に設置してほしい。

理 災害時の初動対応の備えとして一定量の食糧や飲料水、寝具等を備蓄しているが、備蓄倉庫を設けておらず、現状では避難スペースとなる部屋付近の空きスペースに配備している。

まちづくり会館の大規模改修を継続して実施していく中で、各施設の使用状況を勘案し、会館の中で使い勝手のよい収納スペースの確保を検討していく。十分なスペースがない場合、災害時には他の備蓄倉庫から搬送するなど、必要な備蓄品が不足することがないように対応していく。